

金融経済概況

I. 全体感

道北地域^{*}の景気は、低迷が続く中、持ち直しの動きに一服感がみられる。

すなわち、最終需要面の動きをみると、設備投資が低水準ながらも増加しているほか、住宅投資は下げ止まっている。一方、公共投資は大幅に減少している。この間、個人消費は、一部に駆け込み需要の反動がみられる。

こうした中で、生産は持ち直しの動きが鈍化している。雇用環境は、このところ続いていた改善の動きが一服した。

金融面では、預金が引続き堅調なもの、貸出は前年をやや下回った。貸出約定平均金利は横ばい圏内で推移した。

II. 実体経済

1. 最終需要項目別動向

(1) **個人消費：一部に駆け込み需要の反動がみられる。**

平成 22 年 10 月の百貨店・スーパー等主要大型店の売上高は、前年同月を若干上回った（前年比＜同旭川地域＞：+1.1%＜+1.6%＞、22/7～9 月+0.6%＜+3.1%＞、22/7～9 月＜昨年 7 月に閉店した百貨店の前年同月の計数を含めたベース＞△8.2%＜△10.7%＞）。

10 月の新車登録台数（含む軽乗用車）は、エコカー補助終了前の駆け込み需要の反動から、前年同月を大幅に下回った（前年比：△20.2%、22/7～9 月+18.9%）。

10 月の貨物輸送量は、水産物が大幅に減少したほか、食料品、木材も減少したため、前年同月を下回った（前年比：△8.0%、22/7～9 月△1.8%）。

^{*} 平成 22 年 4 月 1 日より道北地域とは、上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内。

10月の空港（旭川、稚内、女満別、紋別）利用客数は、旭川空港、紋別空港で前年同月を上回った一方、稚内空港、女満別空港で前年同月を下回り、全体では前年同月並みとなった（前年比： $\Delta 0.2\%$ ＜旭川空港 $+4.2\%$ ＞、22/7～9月 $+0.7\%$ ＜同 $+9.5\%$ ＞）。

10月の電力消費量は、産業用、民生用共に前年同月を上回り、全体でも前年同月を上回った（前年比： $+2.2\%$ 、22/7～9月 $+4.6\%$ ）。

(2) **公共投資：大幅に減少している。**

10月の公共工事請負金額（上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内）は、全ての総合振興局管内で前年同月を大きく下回ったことから、全体でも前年同月を大幅に下回った（前年比： $\Delta 47.9\%$ 、22/7～9月 $\Delta 23.1\%$ ）。

(3) **設備投資：低水準ながらも増加している。**

道北地域の「企業短期経済観測調査」（平成22年12月調査）における22年度設備投資計画は、9月調査比約2割上方修正された結果、前年度を12.6%上回っている。半期別にみると、上期は前回調査比若干下方修正され、前年同期を6.2%下回る一方、下期は前回調査比4割強上方修正され、前年同期を28.3%上回っている。

10月の主要4市（旭川、北見、網走、稚内）の非居住用建築確認申請（床面積）をみると、旭川・稚内市で前年同月を上回ったものの、網走・北見市で前年同月を大幅に下回ったことから、全体でも前年同月を大幅に下回った（前年比： $\Delta 28.0\%$ ＜旭川市 $+8.3\%$ ＞、22/7～9月 $+31.5\%$ ＜同 $+26.0\%$ ＞）。

(4) **住宅投資：下げ止まっている。**

10月の主要4市（旭川、北見、網走、稚内）の居住用建築確認申請（床面積）をみると、全ての地域で前年を下回ったことから、当月は全体でも前年同月を下回った（前年比： $\Delta 13.8\%$ ＜旭川市 $\Delta 16.3\%$ ＞、22/7～9月 $+5.5\%$ ＜同 $+11.9\%$ ＞）。年度初来累計では、ほぼ前年度並みの水準となっている（22/4～10月 $+2.4\%$ ＜同 $\Delta 1.1\%$ ＞）。

2. 業種別動向

(第一次産業)

10月のオホーツク漁業(稚内、枝幸、網走、紋別)をみると、ほたて、ほっけ、かれい、にしんが数量・金額共に前年同月を下回ったものの、秋鮭、スケソウの好調を主因に、数量・金額共に前年同月を大幅に上回った(数量前年比: +25.1%、金額前年比: +85.7%、22/7~9月数量前年比: +5.7%、金額前年比: +5.6%)。

10月の生乳出荷量は、前年同月を若干下回った(前年比: Δ 1.5%、22/7~9月 Δ 1.2%)。

(製造業)

10月の製材出荷量(速報値)は、ウエイトの高い針葉樹の道外向け出荷の増加を主因に、前年同月を上回った(前年比: +7.0%、22/7~9月+7.1%)。

普通合板の出荷量は、道内向けが増加したものの、ウエイトの高い道外向けが減少したことから、前年同月を下回った(22/9月前年比: Δ 2.3%、22/7~9月 Δ 1.8%)。

紙・パルプの出荷量は、パルプシート、情報用紙が好調だったことから、前年同月を上回った。

電子部品関連は、海外経済の動向等を映じ、増勢が鈍化している。

3. 雇用・倒産動向

10月の常用新規求人数(旭川、稚内、北見、網走)は、網走地区で前年同月を上回ったものの、その他の地区で前年同月を下回ったことから、全体では9か月振りに前年同月を下回った(4地区合計前年同月比: Δ 5.3% \langle 旭川地区 Δ 4.6% \rangle 、22/7~9月+9.6% \langle 同+16.2% \rangle)。10月の有効求人倍率(常用)は、稚内を除く全ての地区で前年同月を上回った。ただし、前年同月との水準差は、網走を除く全ての地区で幾分縮小またはマイナス幅が拡大した(前年との水準差 \langle 22/9月 \rightarrow 10月 \rangle :旭川 \langle +0.13ポイント \rightarrow +0.11ポイント \rangle 、稚内 \langle Δ 0.17ポイント \rightarrow Δ 0.19ポイント \rangle 、北見 \langle +0.15ポイント \rightarrow +0.13ポイント \rangle 、網走 \langle +0.14ポイント \rightarrow +0.14ポイント \rangle)。

10月の倒産件数は5件、負債総額は5億円となった(22/7~9月中件数: 11件 \langle 前年同期比: Δ 35.3% \rangle 、同負債総額: 29億円 \langle 前年同期比: Δ 33.4% \rangle)。

Ⅲ. 金融動向

10月末の金融機関預金残高は、堅調な動きとなった（表面預金残高前年比：
+2.4%、前月比+0.6%）。

10月末の金融機関貸出残高は、前年同月をやや下回った（貸出残高前年比：
△1.1%、前月比△0.1%）。

10月末の旭川市内金融機関の貸出約定平均金利（総合）は、横ばい圏内で推移した（2.000%、前月比：+0.003%ポイント）。

10月に日本銀行が管内で受入れた銀行券は87億円と前年同月（78億円）を9億円上回った。一方、払出した銀行券は121億円と前年同月（99億円）を22億円上回った。この結果、払超額（35億円）は前年同月（21億円）を14億円上回った。11月の受入れは88億円（前年同月93億円）、払出しは110億円（前年同月92億円）となった結果、払超額は22億円となった（前年同月は1億円の受超）。

以 上

<本件に関するお問合せ先>

日本銀行旭川事務所 電話 0166-23-3181

ホームページ <http://www3.boj.or.jp/asahikawa/>

道北主要経済指標

P=速報値 r=修正値

	数量・金額 22/10月 (合板は22/9月)	前年同期・月比(%)				備考 (資料出所等)	
		22/4~6	22/7~9	22/9	22/10		
漁業 水揚	数量(千トン)	34	24.2	5.7	△ 6.6	25.1	稚内・紋別・ 網走・枝幸港
	金額(百万円)	6,719	19.5	5.6	2.9	85.7	
生乳	出荷(トン)	83,729	△ 0.8	△ 1.2	△ 1.6	△ 1.5	ホクレン旭川・稚 内・北見支所
製 材	生産(千m ³)	P 36	P 17.9	P 7.7	P 3.9	P 2.5	上川・オホーツク 総合振興局林務課
	うち針葉樹	34	22.8	10.9	6.8	3.5	
	広葉樹	2	△23.8	△25.8	△26.8	△11.9	
	出荷(千m ³)	P 37	P 20.5	P 7.1	P 0.9	P 7.0	
	うち針葉樹	35	23.9	8.7	2.6	7.1	
	広葉樹	2	△11.3	△ 8.9	△18.6	4.7	
在庫(千m ³)	P 34	※1 P 12.0	※2 P 13.2	P 13.2	P 14.6		
合 板	生産(千m ²)	r 4,467	△ 4.7 r	5.5 r	9.1 r	n. a.	
	出荷(千m ²)	r 4,760	△ 3.2 r	△ 1.8 r	△ 2.3 r	n. a.	
	在庫(千m ²)	r 6,337	※1 r 24.5	※2 r 14.6	r 14.6	n. a.	
建 設	公共工事請負額(百万円)	12,857	△18.6	△23.1	△37.5	△47.9	北海道建設業 信用保証(株)
	うち上川	5,458	△24.7	△16.5	△42.1	△49.1	
	宗谷	1,902	△23.4	△22.3	△37.9	△47.0	
	オホーツク	5,497	△ 6.8	△29.9	△32.3	△47.0	
	確認申請床面積(千m ²)	26	△ 7.6	15.5	57.1	△18.9	旭川・稚内・ 網走・北見市
	うち居住用	18	4.8	5.5	17.5	△13.8	
非居住用	8	△23.5	31.5	2.4倍	△28.0		
旭川市確認申請床面積(千m ²)	17	△ 8.7	17.0	64.3	△ 8.9	旭川市	
旭川市確認申請住宅戸数(戸)	106	△14.6	15.4	62.3	△24.3		
消 費	大型店売上高(百万円)	4,833	※3 3.0	※3 0.6	0.9	1.1	日本銀行旭川事務所
	新車登録台数(台)	2,220	19.8	18.9	1.2	△20.2	自販連
	うち乗用車	1,896	18.3	17.6	△ 1.5	△20.3	旭川・北見支部
	空港旅客数(人)	178,150	△ 2.6	0.7	△ 2.1	△ 0.2	旭川・稚内・ 女満別・紋別空港
貨物	貨物輸送量(千トン)	1,099	2.7	△ 1.8	△ 2.3	△ 8.0	日本銀行旭川事務所
電力	電力消費量(千KWH)	437,092	3.9	4.6	4.5	2.2	北海道電力

注1) 数量・金額の合計は四捨五入の関係上一致しないことがある

注2) 道北：22年4月以降より上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内(22/3月以前は、旧上川、宗谷、網走支庁管内)

※1 22/6月末前年同月比

※2 22/9月末前年同月比

※3 一部大型店の閉店に伴い、前年同期・月比調整済。

	数量・金額 22/10月	前年同期・月比(%)				備 考 (資料出所等)		
		22/4~6	22/7~9	22/9	22/10			
雇 用	常用新規求人数(人)	2,534	12.0	9.6	7.7	△ 5.3	旭川・稚内・北見・網走公 共 職 業 安 定 所	
	旭川	1,396	13.4	16.2	19.8	△ 4.6		
	稚内	155	△25.8	△33.2	△36.6	△32.6		
	北見・網走合計	983	21.7	11.6	3.8	0.1		
倒 産	件数(件)	5	△ 9.5	△35.3	△50.0	△16.7	帝国データバンク 旭 川・北見支店	
	金額(百万円)	527	10.0	△33.4	2.0倍	66.2		
金 融	手形交換高(百万円)	42,212	1.7	△ 1.0	△ 0.6	△ 5.7	札 幌 銀 行 協 会 (道北7手形交換所分)	
	取引停止処分(枚)	11	△87.7	46.2	4.7倍	※4 -		
	管内店舗表面預金 (末残、億円)	34,662	※1 2.7	※2 2.3	2.3	2.4	日 本 銀 行 旭 川 事 務 所	
	管内店舗貸出金 (末残、億円)	14,998	△ 1.4	△ 1.3	△ 1.3	△ 1.1		
	旭川市内銀行等貸出約定平均金利(%)	総合	2.000	※5 2.042 (△0.003)	※6 1.997 (△0.039)	※7 △0.039		※7 0.003
		短期	1.653	1.704 (△0.005)	1.632 (△0.091)	△0.091		0.021
		長期	2.120	2.153 (△0.003)	2.124 (△0.014)	△0.014		△0.004
	銀行券受入高(百万円)	8,670 22/11月: 8,842	△ 6.5	△12.4	△35.6	11.4		
	払出高(百万円)	12,145 22/11月: 11,000	20.8	10.3	△ 0.9	22.5		

※1 22/6月末前年同月比

※2 22/9月末前年同月比

※4 21/10月の取引停止処分枚数は0

※5 22/6月末金利水準、()内は前月比増減(△)ポイント

※6 22/9月末金利水準、()内は前月比増減(△)ポイント

※7 前月比増減(△)ポイント

○有効求人倍率(常用)

()内は前年

年/月	旭 川		稚 内		北 見		網 走		
		倍		倍		倍		倍	
21/ 11	0.39	(0.40)	0.59	(0.50)	0.53	(0.46)	0.46	(0.48)	
	12	0.35	(0.37)	0.54	(0.43)	0.51	(0.46)	0.45	(0.39)
22/	1	0.38	(0.36)	0.49	(0.46)	0.55	(0.44)	0.43	(0.41)
	2	0.41	(0.37)	0.57	(0.51)	0.59	(0.44)	0.43	(0.45)
	3	0.42	(0.37)	0.56	(0.48)	0.57	(0.40)	0.50	(0.46)
	4	0.39	(0.36)	0.44	(0.43)	0.48	(0.35)	0.51	(0.43)
	5	0.38	(0.33)	0.44	(0.48)	0.49	(0.32)	0.52	(0.42)
	6	0.41	(0.32)	0.52	(0.58)	0.52	(0.35)	0.53	(0.44)
	7	0.45	(0.34)	0.51	(0.57)	0.60	(0.40)	0.58	(0.44)
	8	0.46	(0.36)	0.55	(0.60)	0.64	(0.43)	0.62	(0.51)
	9	0.52	(0.39)	0.52	(0.69)	0.66	(0.51)	0.66	(0.52)
	10	0.50	(0.39)	0.47	(0.66)	0.65	(0.52)	0.65	(0.51)

公共職業安定所調べ